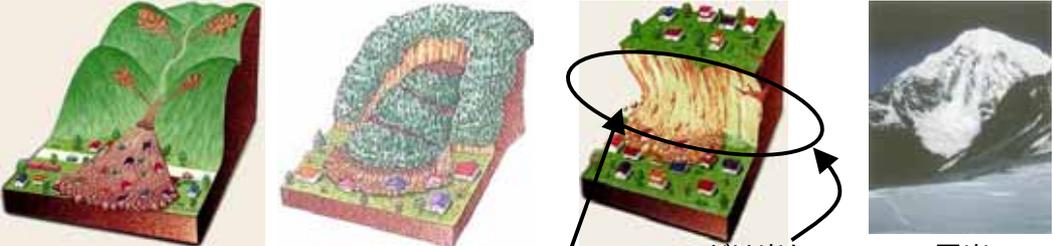


様式 - A

用語	土石流	地すべり	がけ崩れ	雪崩	落石
よみ	どせきりゅう	じすべり	がけくずれ	なだれ	らくせき
解説	山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいう。	斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいう。一般的に移動する土の量が大きいいため、甚大な被害を及ぼす。また、一旦動き出すとこれを完全に停止させることは非常に困難である。	地中にしみ込んだ水分により斜面が不安定になり、雨や地震などの影響によって急激に崩れ落ちることをいう。	山腹に積もった雪が重力の作用によって斜面を崩れ落ちることを言う。	風化や地中にしみ込んだ水分などにより不安定になった岩塊や石が斜面から転落することをいう。
	 <p>土石流                      地すべり                      落石                      がけ崩れ                      雪崩</p>				
用例 (主に活用される場面)	活発な梅雨前線の活動により、1級河川 川水系 × × 川で土石流が発生した。	県 × × 市 地区において、大規模な地すべりが発生した。	豪雨により 県南西部においてがけ崩れが発生し住宅が全半壊する等の被害があった。	スキー場や冬山では雪崩災害に気を付けなければならない。	山の斜面に石が点在しているようなところは落石の恐れがあります。
関連用語・類似用語		土砂崩れ、山崩れ、地すべりやがけ崩れなどの斜面の崩壊をこのように言うことが多い。			
注意すべきポイント (防災上の注意すべき点)	土石流は1年あたり200件近く発生している。その動きは流れ下るに従って大きな石を巻き込んで成長し、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまう。	我が国では、地質的に弱いことに加えて梅雨あるいは台風などの豪雨により、毎年各地で地すべりが発生している。	がけ崩れは1年あたり約700件も発生しており、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっている。	厳冬期の雪崩は速度が速く破壊力が強大で被害範囲も大きくなる。	